

| | | | |
|----------|--|-------|-----|
| | | 科目コード | 205 |
| 科目名 | 育成支援看護学特論Ⅰ (Advanced Study of Developmental Child Nursing I) | 選択区分 | 選択 |
| 単位数 (時間) | 2 単位 (30時間) | 履修時期 | 1前 |
| 担当者 | 豊田 ゆかり・枝川 千鶴子・仲渡 江美 | | |
| 授業概要 | 認知・精神分析理論を理解し、小児と家族をケアできるための看護に活用できる理論を教授する。 | | |
| 授業目標 | 子供の成長や発達及び家族を含めた環境を理解し、その知識を基盤として、子供特有の健康問題を解決するために必要な理論を学習する。特に、子供 (個人)・家族・社会の関連性を視野に入れた学習を行う中で、理論に基づいたアセスメント力を高める。 | | |

授業内容とスケジュール

| 回 | 項目 | 内 容 | 担当者 |
|---------------|-----------------|--|-------|
| 1 | ガイダンス | ガイダンス これからの講義内容と学習の方法 | 豊田ゆかり |
| 2 | 発達理論 (1) | 認知発達理論について | 仲渡江美 |
| 3 | 発達理論 (2) | 精神分析理論について | |
| 4 | 子供の発達とその障がい | ことばと認知の発達を支える基盤と発達障害 | |
| 5 | 親として発達 | 子供の精神発達を支える家族の役割 －家族システム論の立場から－ | |
| 6 | 子供の権利・倫理 1 | 子供の権利と看護 | 枝川千鶴子 |
| 7 | 子供の権利・倫理 2 | 子供の権利と看護 －小児看護における倫理上の課題－ | |
| 8 | 子供の包括的理解 | ICF の臨床的活用の意義 | |
| 9 | 小児看護の関係する重要概念 | 子供と家族に必要なケアを実践するための重要概念 | 豊田ゆかり |
| 10 | 小児看護とヘルスプロモーション | 子供と家族のヘルスプロモーションについて | |
| 11 | ヘルスプロモーションの研究 | 子供と家族のヘルスプロモーションに関する研究 －看護援助、研究方法について－ | |
| 12 | ソーシャルサポート | 子供と家族のソーシャルサポートについて －国・自治体の方針・制度－ | |
| 13 | 理論理解 | 子供と家族のストレングルモデルに関する研究の動向 | |
| 14 | 理論活用 1 | 子供と家族に必要な支援を明らかにするアセスメント枠組み －理論の活用－ | |
| 15 | 理論活用 2 | 子供と家族に関連する看護理論の臨床的活用の意義と意味 | |
| 成績評価方法 | | プレゼンテーション (30%) 課題レポート (70%)、をもとに総合的に評価する。 | |
| 必携あるいは参考図書・文献 | | <p>参考文献</p> <p>①平木典子・柏木恵子：日本の親子，金子書房 ②子安増生・仲真紀子（編）：こころが育つ環境をつくる，新曜社 2014 ②杉山登志郎：発達障害のいま，講談社現代新書 [仲渡担当分]</p> <p>① 萱間 真美：リカバリー・退院支援・地域連携のための ストレングスモデル実践活用術，医学書院，2016 ②佐藤栄子編：中範囲理論入門（第2版），日総研， ③パトリア・R・アンダーウッド 著，南裕子監訳：看護理論の臨床活用，日本看護協会出版会， ③独立行政法人国立特別支援教育総合研究所：特別支援教育における I C F の活用：ジアース出版， ④厚生労働省大臣官房統計情報局編：国際生活機能分類－ICF－CY，厚生統計協会，[豊田担当分]</p> <p>①日本小児科学会・日本小児保健協会その他 編集：子育て支援ハンドブック 日本小児医事出版社 ②小児看護領域の看護業務基準：公益社団法人日本看護協会， ③グレイス L. ハステッド，ジェームス H. ハステッド（著）藤村龍子、樽井正義（監訳）：臨床実践のための看護倫理， ④日本小児看護学会 倫理委員会：小児看護の日常的な臨床場面での倫理的課題に関する指針，[枝川担当分]</p> | |
| 備 考 | | | |